

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1034	(H.24)No.	1034
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地域ささえあい事業		
担当部局名	健康福祉部	担当室名	健康福祉政策室
		室長名	高嶋 正広
		連絡先	63-7579
新・継	事業期間		根拠法令等
継続	平成 22 年度 ~	平成 23 年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	3	健康福祉ネットワークの構築
	施策	1	健康福祉ネットワーク
	小施策	3	地域福祉推進体制の整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	121012
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	民生費	地域福祉推進事業
項	社会福祉費	(小事業名)
目	社会福祉総務費	地域ささえあい事業

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>地域が主体となって、地域福祉の取り組みを積極的に行うしくみづくりを、市内全域で取り組むために以下の事業に取り組む。</p> <p>個別支援ネットワークづくりを進めるため、まちの保健室職員のネットワーク能力の向上</p> <p>地域組織単位での生活支援を行う有償ボランティア組織の構築</p> <p>支援する人を支援する仕組みづくり</p> <p>地域福祉計画に重点事業として位置づけている事業であり、厚労省の補助金を申請し取り組む。 平成23年度 事業完了</p>

めざす効果(事業目的)
<p>誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域が主体となって、支援を要する人に対してめれなく見守り及び生活支援が行われるしくみづくりを行う。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
主な事業の実績・計画	<p>モデル事業に係る</p> <p>まちの保健室職員人件費 事務補助職員人件費 (賃金・共済費) 7,488千円</p> <p>委託料 調査研究事業 800千円</p>	平成23年度 事業完了	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
直接事業費	8,826千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
財源内訳(千円)							
国庫支出金	8,826	0	0	0	0	0	0
県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0) 0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員	0.36人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
臨時職員等	2.00人						
概算人件費	(0千円) 2,628千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 11,454千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	まちの保健室における相談件数(延べ値)	件	-	-	-	-	105,000
	実績			16,738	36,076	55,750	75,985	
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
2地区をモデル地区として設定し、ニーズの把握から地域で支える有償ボランティアの仕組みづくりまで取組みをしてきた。まちの保健室も地域に定着し、住民の一番身近な総合相談窓口としての昨日を果たしている。	取組みを市内全域に拡大するため、引き続き事業の取組みが必要である。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢化する地域でもれのない見守りや生活支援ができるよう、地域の課題に即した事業の構築が必要である。	

8. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項